

372) 幸福の天使

あなたは僕の幸福の天使だった
消えて行く青春の燃えかすに
ほんのりと優しい炎を^{とも}燈してくれた
子供のような誤解がもとで
炎は消えてしまったけれど
あなたは僕の幸福の天使だった

あなたは僕の幸福の天使だった
過ぎて行く今日という日の思い出に
あざやかな愛の記憶を記してくれた
ほんのささいな ゆきちがいから
愛は壊れてしまったけれど
あなたは僕の幸福の天使だった

あなたは僕の幸福の天使だった
くちてゆく若き日のメモリーに
ありありと生命の軌跡を^{いのち}残してくれた
3年間の過去を^{ほど}解いて
すべてが^い逝ってしまったけれど
あなたは僕の幸福の天使だった

あなたは僕の幸福の天使だった
めぐりゆく^{としつき}歳月に流されて
いつの日か心の傷は思い出になる
もとにはもどれぬふたりだけれど
^{いのち}生命があれば再会したい
あなたは僕の幸福の天使だった